

議会広報

かみいち

vol.5



上市町特産サトイモの収穫

目次

| | | | |
|----------------|----|--------------|-----|
| 役員改選 | P2 | 追跡レポート | P14 |
| 9月定例会の要点 | P3 | 視点 | P15 |
| 常任委員会報告 | P4 | 町民の声紹介 | P16 |
| 一般質問(9名) | P5 | お知らせ | P16 |



発行
上市町議会 2015年11月

編集
議会広報特別委員会

KAMIICHI



議長就任の挨拶

松谷 英真

平成27年9月議会におきまして、議員各位の推挙をいただき第55代の上市町議会議長に就任いたしました。町民の皆様には今後ともご指導ご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。

先の関東・東北大水害により、被災された皆様には心よりお見舞い申し上げます。いち早い復興願っております。

町では、大岩地区、眼目地区に続いて森林セラピー基地「劔・きらめきの森」が馬場島地区にも完成し、グランドオープンいたしました。医学的に裏付けされた森林浴効果を活用し、健康維持・増進、疾病を予防する目的です。森林セラピーロードを多くの人に堪能していただき、森林浴を体験して心と体を健康にしたいと考えています。

また、町の人口ビジョンは、2060年の人口目標を1万4千人を確保することを目標にします。そのために「上市町まち・ひと・しごと創生総合戦略」や「第7次総合計画後期基本計画」に位置づけ施策を進めてまいります。

終わりに、安心安全の町づくりと、遠く先を見据えた上市町の在り方を模索し、議会活動を進めることをお約束して、町議会議長就任のご挨拶といたします。

上市町議会役員

議長 松谷 英真

副議長 平井 妙子

総務教育常任委員会(6人)

委員長 酒井 恒雄

副委員長 堀田 喜久男

委員 田中 義則

委員 平井 妙子

委員 確井 憲夫

委員 伏黒 日出松

産業厚生常任委員会(6人)

委員長 酒井 桂之

副委員長 成川 友仁

委員 松谷 英真

委員 勝戸 謙

委員 伊東 俊治

委員 宝嶋 洋子

議会運営委員会(6人)

委員長 伏黒 日出松

副委員長 伊東 俊治

委員 成川 友仁

委員 宝嶋 洋子

委員 酒井 恒雄

委員 酒井 桂之

監査委員 田中 義則

産業振興対策特別委員会(6人)

委員長 確井 憲夫

副委員長 成川 友仁

委員 松谷 英真

委員 田中 義則

委員 酒井 恒雄

委員 酒井 桂之

委員 酒井 恒雄

委員 酒井 桂之

委員 酒井 恒雄

委員 酒井 桂之

委員 酒井 恒雄

委員 酒井 桂之

委員 酒井 恒雄

委員 酒井 桂之

委員 酒井 恒雄

委員 酒井 桂之

委員 酒井 恒雄

委員 酒井 桂之

委員 酒井 恒雄

委員 酒井 桂之

委員 酒井 恒雄

委員 酒井 桂之

委員 酒井 恒雄

委員 酒井 桂之

委員 酒井 恒雄

委員 酒井 桂之

委員 酒井 恒雄

委員 酒井 桂之

委員 酒井 恒雄

委員 酒井 桂之

委員 酒井 恒雄

委員 酒井 桂之

委員 酒井 恒雄

委員 酒井 桂之

委員 酒井 恒雄

委員 酒井 桂之

滑川中新川地区広域情報事務組合(3人)

成川 友仁

宝嶋 洋子

平井 妙子

中新川広域行政事務組合(4人)

堀田 喜久男

伊東 俊治

伏黒 日出松

酒井 桂之

酒井 恒雄

酒井 桂之

酒井 恒雄

酒井 桂之

酒井 恒雄

酒井 桂之

酒井 恒雄

酒井 桂之

酒井 恒雄

酒井 桂之

酒井 恒雄

酒井 桂之

酒井 恒雄

酒井 桂之

酒井 恒雄

酒井 桂之

酒井 恒雄

酒井 桂之

酒井 恒雄

酒井 桂之

酒井 恒雄

酒井 桂之

酒井 恒雄

酒井 桂之

酒井 恒雄

酒井 桂之

酒井 恒雄

9月定例会の審議の要点

私約交代に伴う指名推薦で議長に
松谷英真氏、副議長に平井妙子氏
が就任される

平成27年度一般会計補正予算

1億26万円を追加

総額**97億4267万円**に

平成27年9月定例会は、9月4日から18日までの15日間にわたり開かれ、補正予算・条例一部改正など、15件の議案について審議を行い、すべて原案のとおり可決・認定しました。最終日には、追加議案2件が提案され、町議会議員・田中義則議員の監査委員選任について同意、また上市町教育委員会委員・山口松蔵委員の再任について同意しました。一般質問では、9名の議員が町政全般にわたり、活発な議論を展開しました。（質問と答弁の要約は別紙参照）

議決結果の一覧表（平成27年9月上市町議会定例会）

●議案

| 議案番号 | 件名 | 結果 |
|------|----------------------------------|-------|
| 第54号 | 平成27年度上市町一般会計補正予算（第3号） | 可決 |
| 第55号 | 平成27年度上市町病院事業会計補正予算（第2号） | 可決 |
| 第56号 | 上市町個人情報保護条例一部改正の件 | 可決 |
| 第57号 | 上市町手数料条例一部改正の件 | 可決 |
| 第58号 | 町道路線の認定及び廃止に関する件 | 可決 |
| 第59号 | 平成26年度上市町一般会計歳入歳出決算認定の件 | 認定 |
| 第60号 | 平成26年度上市町土地取得事業特別会計歳入歳出決算認定の件 | 認定 |
| 第61号 | 平成26年度上市町墓地公園事業特別会計歳入歳出決算認定の件 | 認定 |
| 第62号 | 平成26年度上市町地域開発事業特別会計歳入歳出決算認定の件 | 認定 |
| 第63号 | 平成26年度上市町農業集落排水事業特別会計歳入歳出決算認定の件 | 認定 |
| 第64号 | 平成26年度上市町下水道事業特別会計歳入歳出決算認定の件 | 認定 |
| 第65号 | 平成26年度上市町後期高齢者医療事業特別会計歳入歳出決算認定の件 | 認定 |
| 第66号 | 平成26年度上市町国民健康保険事業特別会計歳入歳出決算認定の件 | 認定 |
| 第67号 | 平成26年度上市町水道事業会計剰余金の処分及び決算認定の件 | 可決・認定 |
| 第68号 | 平成26年度上市町病院事業会計剰余金の処分及び決算認定の件 | 可決・認定 |
| 第69号 | 上市町監査委員選任に関し同意を得るの件 | 同意 |
| 第70号 | 上市町教育委員会委員任命に関し同意を得るの件 | 同意 |

●報告

| 報告番号 | 件名 |
|------|--------------------------------|
| 第4号 | 平成26年度決算に基づく健全化判断比率及び資金不足比率報告書 |
| 第5号 | 平成26年度上市町継続費精算報告書 |

先の6月定例会において継続審査に付されていた請願第3号平和憲法をこわす「安保健法」に反対する意見書採択を求める請願につきましては、反対多数で不採択となりました。

委員会の審議

総務教育常任委員会

お話し居住と同級
会助成で町を元氣
に

総務課（上市消防署）

Q 災害等の第一報としてサイレン吹鳴を活用すべきと防災研修会で伺ったが。

A 今後の取り組みの参考とする。

Q 個人情報保護条例違反の罰則規定は。

A 条例には無い。公務員の守秘義務違反等として処分対象になるほか、マイナンバー法など国の法律が有する罰則規定が適用される。

企画課

Q 国勢調査ではインターネット回答を勧めているが、手続きは。

A 手引きと共にID・パスワードを配布する。専用のホームページで回答してもらう。

Q 補正予算のお話し居

住事業費とは。

A 稗田の定住促進住宅を2室用意し、移住希望者に一時的に住んでもらう。最長で7日間利用でき、詳細は要綱作成時に検討する。

Q かみいち同級会助成事業費とは。

A 同学年10名以上の開催時に助成する。原則1人あたり1000円で、経費の半額を助成の上限とする。40歳未満の未婚者が複数名いる場合、該当者1人あたり3000円を助成するのが特徴。

財務課

Q 町へのふるさと納税は単発的なものか。

A 毎年ふるさと納税を頂ける方もいらっしゃるが感謝している。

教育委員会事務局

Q 公民館の分館（各町内の自治公民館）補助金とは。

A 4月1日以降に完成した事業については

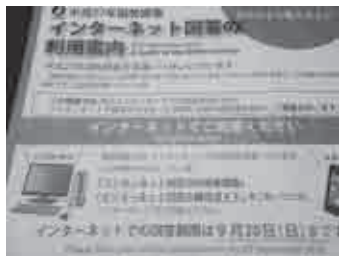
大規模改修事業も補助対象となった。大規模改修は100万円、新築は200万円、下水道は30万円。

Q 小学校のグラウンドの状況が良くない。

A 今までは建物の耐震補強が中心だった。教育長会を通じて県への要望を行いたい。

Q 小中学校の学力テストの結果公表は。

A 町や村で中学校が1校だけだと、自治体としての結果公表が当該校の成績特定となるため、慎重にならざるを得ない。
【審議の結果】 委員会所管の議案を全会一致で可決し、請願は不採択と決しました。



国勢調査の回答案内

産業厚生常任委員会

26100歳の高齢者

福祉課

Q 100歳以上の高齢者は上市町に何人か。

A 9月15日現在で18人。今年度末までに8人増えて26人となる。

Q 訪問看護ステーションの準備状況は。

A 年度内を目標に進めているが、現在、国の交付内示がなく交付内示後速やかに進める。

町民課

Q マイナンバー、個人番号通知カードの住所地以外への送付希望件数は。

A 現在11件、申出期間は8月中旬から9月25日まで。

Q 住基カードから変更になるのか。

A 住基カードは有効期限内まで使用できる。

産業課

Q 里芋の作付面積は、計画通りか。

A 12ha。ここ数年間増減なし。収穫の手間もかかるし里芋は連作ができ

ないので農家の方が苦勞している。

Q 森林セラピーの販売拡大は。

A 全国に60ある森林セラピー基地の中から選んでもらえるようPRしていく。森林療法等を進めている講師を招いて商品を買付け、販売力のあるプログラムを作り首都圏のPRを軸に考えている。

Q 観光大使の活動状況は。

A ご当地グルメ投票「T1グランプリ」に1名、9月の東京「まちいちむらいち」に1名、フォトロゲイニング大会に3名参加。

Q フォトリゲイニング大会の申し込み状況は。

A 県外の申し込みもあり200名規模の大会を予定している。150人くらいまで集まっている。町の企業と一緒に開催したいと考えており、町全体で盛り上げられるようにしたい。

Q 空き店舗の問い合わせは。

A 空き店舗補助金の第1号が音杉コミュニティ

のそば、大坪地内の空き店舗に「お好み焼き店」が入る。

建設課

Q 空き家対策事業の、空き家の緊急安全措置の工事について。

A 危険空き家に対して第三者にケガのないように必要最低限の措置ができる予算を計上した。

Q 転入者にハザードマップを配布しているか。

A 町民課窓口で渡している。

糖尿病予防の共同研究

総合病院

Q アスタキサンチンの共同研究の期間は。

A 富士化学工業が国の補助金を受けて、平成28年6月30日まで。アスタキサンチンの生活習慣病とくに糖尿病について効能を研究する。

【審議の結果】 委員会所管の議案を全会一致で可決しました。



松谷 英真 議員

一般質問

三世代同居の推進を奨励 —リフォーム工事補助を拡充—

議員 三世代同居の推進を人口ビジョンの一つとして取り組んではいかがでしょうか。
町長 三世代同居を人口増対策として奨励してはとのご提案ですが、町として取り組むべき課題として認識している。この三世代同居は、人口増対策に加え、高齢者の介護や子育てなど、家庭内で支えあう機能が維持されるとともに、祖父母世代の生きがいや孫世代の情操

三世代同居推進の取り組み



議員 三世代同居の策について検討して参りたいと考えます。
町長 三世代同居へのリフォーム補助を拡充してはどうか。
町長 三世代同居世帯へのリフォーム補助事

金の交付など具体的な施策について検討して参りたいと考えます。
現在の策定中の町人口ビジョンにおいて三世代同居を奨励するとともに、町の総合戦略において、助成

教育など、地域のコミュニティを形成する良い方策であると考えます。
現在、策定中の町人口ビジョンにおいて三世代同居を奨励するとともに、町の総合戦略において、助成
業については、現在、対象工事費の10分の1、上限10万円としてリフォームに関する補助制度を設けているが、三世代同居を推奨する意図から、制度の拡充など見直しを図る。
18歳からの投票権について
議員 選挙年齢の引下げの周知と学習等の取り組みについて
総務課長 選挙権年齢18



歳への引下げについては、法公布の日から1年を経過した日から施行となることから、国や県による周知活動の動向と、選挙に関心が向けられると想定される有効な頃合いを見計らい、町広報誌やポスター掲示などで周知したい。
次に学習等への取組みについては、現在、総務省が文部科学省と連携し、高校生及び指導者向けの副教材を作成中であり、作成後は富山県選挙管理委員会を通じて配布予定と伺っていることから、その内容を確認したうえで検討する。



なお、上市町選挙管理委員会では、選挙学習の一環として、依然より上市中学校の生徒会選挙の際に、実際に選挙で使用する記載台や投票箱などを貸出していることから、県立上市高校での生徒会選挙等においても同様の要請があった場合は、当然、貸出すことになっている。

一般質問

伊東 俊治 議員



医療費抑制…高齢者の受け皿整備を

議員 病床（ベッド）の削減 について

病院事務局長 病床の削減の件につきまして、今年6月に、政府・社会制度改革推進本部の専門調査会において、一般病床及び療養病床について、いわゆる「団塊の世代」のすべてが75歳以上となり、高齢化がピークとなる、10年後の2025年時点での全国の必要病床数を115万床〜119万床程度と推計し、現状と比べて1割以上の16万床〜20万床程度が余剰であると報告された。また、富山県については、必要数が9600床程度で、3割以上の4800床程度が余剰ということです。

昨年6月に成立した医療介護総合確保推進法に基づき、医療法をはじめとする関係法律の所要の整備が行われ、その中で医療計画の一環として地域医療構想が位置づけられており、各都道府県においては、3月に厚生労働省から示された地域医療構想策定ガイドラインやこの報告を踏まえて「地域医療構想」を策定することとなっている。「地域医療構想」では、適正な医療需要に対する医療の提供体制に基づく将来の必要病床数を4つの医療機能（「高度急性期」、「急性期」、「回復期」及び「慢性期」）それぞれについて、公立病院や民間病院など病床を有する各医療機関から病床機能の現状を報告させ、把握するとともに、これらを基に、現行の二次医療圏を原則として、構想区域を設定し、人口規模や患者の受療動向、アクセス時間など将来における要素を勘案して、病床の機能区分ごとの将来の必要病床数を定める。

県においても、まだ具体的な数値を固めたわけではありませんが、現時点において、当院が担うべく、急性期の病床にあっては、県内では2827床の余剰、富山医療圏では443床の余剰とする一方、回復期の病床にあっては、県内では2108床の不足、富山医療圏においても982床が不足していると試算しており、さらに地域の医療ニーズ等の実情を踏まえて、来年3月を目安に取りまとめを行う。

当院では、超高齢化社会の到来や医療需要を見据えて、すでに一般病床の一部を回復期リハビリテーション病床に転換を図っているところですが、策定後の地域医療構想の方向性を踏まえて、当院の在り方を検討していく。

いずれにいたしましても、今後とも人口は減少し、少子高齢化がさらに進展していく中で、この「地域医療構想」の基本である医療計画は、「地域包括ケアシステム」の構築が前提となっているので、必要病床数から漏れた数については、在宅での療養が中心となることから、医療・介護サービスのネットワークをさらに推進するとともに、その部分を強化するためにも訪問看護ステーションと当院の家庭医療センターとの拡充整備を進めていくことが極めて重要だ。

将来に向けて、急性期病院としての急性期機能を維持しつつ、回復期、そして在宅医療へのスムーズな移行ができるよう、しっかりと対応できる体制を整えていく。

- その他の質問
- ・ 総合教育会議について
 - ・ 地方創生新型交付金について



かみいち総合病院のベッド



伏黒日出松 議員

一般質問

小中一貫校の設置は

小中一貫校の設置について

議員 小中一貫校の設置の取り組みを伺う。

教育長 教育制度の多様化・弾力化を推進するための法律が「義務教育学校」で、町としては小中一貫校などの設置については考えていない。今後、調査研究は必要不可欠と考える。

小中学生の夜間外出について

議員 夜間外出の家庭指導や学校指導をどのようにしているのか。

教育長 児童生徒の夜間外出については、日頃から「学校だより」などを通じて一人で夜遅く外出することの無いようをお願いしている。

また、青少年育成町民会議、防犯協会、PTAなどが防犯パトロールを実施している。

総合防災訓練について

議員 総合防災訓練と町

の取り組みについて

総務課長 訓練は地震と土砂災害の発生時における住民の迅速な避難及び防災活動、並びに防災意識の高揚を図ることを目的に実施している。

また、県との総合防災訓練で、日頃の訓練では体験できない災害救助犬による救助や県の消防防災ヘリコプターによる孤立集落からの救助訓練、地震体験車による震度体験、土石流体感3Dシミュターによる土砂災害の体験、自衛隊による短時間でのカレーの炊き出しなど実施した。ご意見は今後の防災訓練に検討材料として生かしたい。

ふるさと納税について

議員 ふるさと納税の現状と返礼品について

財務課長 平成26年度のふるさと納税の実績は25件、金額にして231万円、25年度より18件、44万5千円増でした。本年度は8月末で5件、23万円と他市町村と比べ

ると少ない傾向にある。

お礼の品については1年ごとに見直しを行っており、1万円以上の寄付者には「さといもセット」など約3千円相当の品、10万円以上の寄付の方には里芋、コシヒカリなどのセット、約8千円相当の品をお送りしている。今後も町の魅力発信に向けた内容の検討を行っている。

砂利の田や畑の陸掘りについて

議員 陸掘りの現状と、埋戻しに産業廃棄物はないか。

建設課長 県土木センターによると、上市管内では近年、田や畑での砂利採取は行われていない。認可条件では山土砂で埋め戻すことになっている。過去5年間の砂利採取には聞き取り調査を行っている。

産業課長 花子田工業団地の周辺地区において、土壌汚染等の被害報告はされていない。今後、開

発計画が決まれば、埋設物等の調査が必要と考える。

なお、企業立地については、問い合わせはあるものの合意には至っていない。引き続き工業団地としてPRを進め、その他の有効活用も検討する。

シヤクヤクの栽培について

議員 シヤクヤクの栽培指導について

産業課長 近年、漢方製剤等の使用量増加により価格が上昇しており、シヤクヤクや葉草の国内生産や振興に熱い視線が注がれている。富山県も支援・情報提供に努めており、町においても薬用植物指導センターやJA等の関係機関と連携し、シヤクヤクの生産拡大について支援・情報提供に努める。

トウガラシ・エゴマの栽培について

議員 休耕田にトウガラシやエゴマの栽培を行う

てはどうか。

産業課長 町の休耕田は今年3月現在、約7haある。内1.4haは草刈等保全管理がされた。

特に、トウガラシはイノシシやサルなどの有害鳥獣対策へ大きな効果を発揮している。

今後、町としても耕作休耕田を活用した栽培については比較的維持管理費についても費用が掛からないことから、農業委員会・JAアルプスなど関係機関へ情報の発信を行っていききたい。





堀田喜久男 議員

一般質問

- ・ 公共事業計画の今後の目玉は何？
- ・ 伝統芸能、風習を継承するには

今後の目玉になるような公共事業計画はあるのか。
 残念ながら、現在は無い。上市スマートインターを軸とした「町づくり」を目指した公共事業計画に着手すべきと考える。



議員 当町の主だった公共事業は、建築、土木共により、関連工事も無くなった今、今後の目玉となる公共事業計画はある

のか。
 又、主要地方道宇奈月大沢野線・早月トンネルや主要地方道富山上市線バイパス計画は、現在、どのようなになっているのか。
建設課長 当町における公共事業について、大まかな事業は推進出来ているものと思う。

残念ながら、今後の目玉となるようなものは無い。地方創生の観点から、上市スマートICを軸とした「町づくり」を目指した事業計画に着手すべきと考える。
 又、早月トンネルは、構想として県に重点要望している段階。富山上市線バイパスは、整備促進期成同盟会総会でも決議（案）が承認されており、今後も機能強化を図りながら、県に要望して行きたい。

町の伝統芸能、風習を継承して行く為に、何をすべきと考えるか。
 地域の声を受け止め、支援して参りたい。



議員 開谷地区に数百年前から伝わる開谷踊りをはじめ、柿沢神社の火祭り、上市川原の精霊やぐら焼き、神明町の山車や各地の獅子舞、神輿など町の文化遺産的な伝統芸能、風習がある。どこも後継者不足に悩み、このままでは地域の絆も弱まって行く事に懸念を抱く。そうなる前に、何らかの手を差し伸べて頂きたい。当局として、貴重な財産を継承して行く為

には、何をしていくべきと考えるのか。
教育長 上市固有の伝統文化や風習は、地域の誇りであり絆づくりには欠かせないものとして、後世に継承して行つて欲しい。担い手である地域の皆様に、精霊やぐら焼きだけでなく、獅子舞等にも支援を行つている。今後も、伝統文化や芸能を継承して行く為に、地域の声を受け止め、支援して参りたい。

マイナンバー制度導入に対する準備は。インターネット接続のネットワークを分離。

議員 情報漏れは必ず起きる！という最悪の状態を想定して、どのような準備をしているのか。
総務課長 システム面では特定個人情報や基幹業務で使用するネットワークを、国や地方公共団体以外の不特定多数との通信が出来ないように分離。制度面では、利用目的以外の利用と提供を制

限。職員には、情報セキュリティポリシーの再確認と取扱いに関する研修の実施で各対策を厳守したい。
電気柵延長はどの位？又、電気柵の安全性は。設置延長は約42km。安全性は確認。

議員 イノシシ等の農産物被害防止対策用の電気柵設置延長はどの位あるのか。又、電気柵に触れる事による、人的被害等は想定されないのか。
産業課長 平成22年度からの国の交付金活用で電気柵の施工距離は、約42kmある。専門の電気柵メーカーのものであり、専用の電源装置を使用し、正しく管理していれば安全と、確認されている。静岡県での感電死事故後、設置集落には安全確保の注意喚起を行なったところである。



酒井 桂之 議員

精霊やぐらの補助金を来年度にも増額 交流と健康づくりを兼ねた介護予防教室を推進



にぎわいのあるまちづくりをどう進めるのか

議員 家族で楽しめる食事処の創出をどう考えているか。

町長 商工会と議論を深め、町内の飲食店がより町民の皆様楽しんでいただけるために、マップの作成等を通じて町内飲食店の周知PRを行っていききたい。中心市街地で創業される事業者の店舗の修繕費、備品購入費等に対して1/3の補助率、上限100万円の補助事業を制度化しているところであり、本年度は制度創設以来初めて飲食店での事業活用が1件見

込まれる。

議員 精霊(しゅうらい)やぐらの維持をどのように進めて行くのか

町長 近年の中心市街地の若年層の減少などで、担い手不足が深刻化している。町では、何とか各町内会でのやぐら建てを維持していただきたいの思いから、制作する町内会に補助している3万円を来年度にも増額したい。

介護について

議員 介護保険制度の改正に伴い、町の取り組みをどのように考えているか。

福祉課主幹 「要支援1、

2」の高齢者向けサービスの一部が市町村に移行

することで、中新川管内で格差が生じないように行う予定である。町では、「いきいき元気クラブ」や宮川公民館と南加積公民館での健康教室、健康科学専門学校での水中運動プログラム、まちなか交流プラザ・カミール会場で交流と健康づくりを兼ねた介護予防教室を展開している。

「サービス付き高齢者向け住宅(サ高住)」について

議員 中新川管内の現状(地区別)はどのようになっているか。

福祉課主幹 上市町に1施設、立山町の3施設の計4施設がある。居室は上市で、19室 立山には3施設で合計61室あり、中新川全体で80室があり、上市町では本年開設され、すでに満室である。
議員 「サ高住」において好ましくない運用があるときいているが、どの

ような不都合があったのか把握しているか。

福祉課主幹 富山県から本年8月19日付で既存建物を転用する場合の取り扱いの見直し、外部サービスを利用者自ら選択できる環境の構築、「サービス付き高齢者向け住宅」も対象とすることが、改正点として通知された。最近、「サ高住」でのサービスの囲い込みが全国的に報道されており、それを抑制する内容となっている。上市町ではかねてからサービスの囲い込みがないように各施設に伝えるとともに、

利用者が、複数のサービスを受けられるよう配慮している。

議員 平成26年度に上市町に認知症対応型共同生活介護「グループホーム2ユニットの指定が行われ、開設されると公表されていたが、いつ事

業所が開設されるのか。福祉課主幹 諸般の事情で、着工に手間取っていると伺っている。中新川広域行政事務組合での協議が行われる予定であるが、今後、その問題を解決したのち着工となるものと考えており、28年度には開設していただけるものと考えている。

議員 民間で行われている介護予防教室、特にマシントレーニング教室を実施できないか。

町長 富山健康科学専門学校もあるので検討していききたい。



一般質問

碓井 憲夫 議員



自然農法による学校給食用農園の設立を

環境保全型農業直接支払交付金状況
(26年度)

| | 富山県 | 石川県 | 福井県 |
|-------|-----|-----|-------|
| 件数 | 188 | 231 | 686 |
| 面積 ha | 593 | 812 | 2,212 |

議員 子供に安心安全な食物を食べさせたい。健康に育てたい。という母親が増えている。農薬や化学肥料を使わないで栽培した食品で2週間生活したら健康を回復したという公的機関の報告もある。安心安全でおいしい食品は微生物が豊富な土で育つ。微生物が土に含まれる有機物を分解する時に酵素が働き、この酵素が肥料の役割をはたす。

を 環境保全型農業の普及

議員 農薬や化学肥料は

土を豊かにする土壌の微生物を死滅させ、地下水の汚染にもなる。生物の多様性を守る、環境保全型農業の普及は世界の流れになっており、そのため国でも平成18年には有機農業推進法が制定され、各種交付金が組まれている。この予算の活用がもつとも遅れているのが富山県であり実施面積で比較すると石川県の73%、福井県の27%の実情だ。

「家庭では地場産の安全でおいしい食品を与えているが学校給食もそのようにしてほしい」という母親の声に応え、環境の保全、子供の健康のためにも自然農法による学校給食用農園の設立を進められたい。

若者の就業促進のためにも

議員 農業の保全は地域の活性化のためにも肝要であり、そのためには若者の就業が不可欠だ。若者は、農薬や化学肥料を

使わない環境保全型農業に集まる。若者の就業促進のためにも環境保全型農業の促進が必要だ。

町長 子どもには安全・安心な食物を食べさせたいという気持ちは親なら誰もが思うところであり、無農薬で化学肥料を使わないで栽培された農産物などを積極的に食べる家庭も数多くあると伺っている。町としては、学校給食用農園の設立については現在考えていないし手が届くことではないが、学校給食にお



| 26年度 | 学校給食用農園割合 | 環境保全型農業交付金 |
|------|-----------|------------|
| 滑川市 | 53.9% | 3件 935a |
| 立山町 | 36% | 1件 385a |
| 上市町 | 6.5% | 無 |

ける地場産食材の割合を高めようと精力的に動いているところであり、食材提供に協力していただく農業者には、栽培履歴簿を示してもらおうなど、環境についても配慮していただけるようお願いしている。自然農法に取り組む農業者の方がいらっしやれば積極的に応援したい。しかし一部に農薬や化学肥料に対していたずらに言う人がおられるが、無農薬となると果樹は成り立たないし輸入食品も買えない。基準を守れば農薬も安全だ。

産業課長 若手として活躍されている農業者が何名かいらっしやるが、それぞれの立場で農薬や化学肥料の使用量の低減など、環境にやさしい栽培方法にこだわって作物を栽培されておられる。国におきましても、そういう環境問題に対する国民の関心が高まる中で、農業生産全体のあり方を環境保全を重視したものに転換していくとともに、農業分野においても地球温暖化防止や生物多様性保全に積極的に貢献していくため、平成23年度から環境保全に効果の高い営農活動に対して支援を行う「環境保全型農業直接支払交付金」制度が実施されている。

今後、町としては環境保全型農業の促進のために、この制度の周知について取り組むとともに、農業者からの取り組みに対する要望があれば、積極的に支援していきたい。



田中 義則 議員

一般質問

上市町まち・ひと・しごと創生総合戦略

アンケートの集計結果

議員 「総合戦略」に町民の声を反映させるため、6月に町民約2千人を対象に行ったアンケートに、町民の意識・意見はどうであったか

企画課長 810人から回答をいただき、回収率は40・5%。

地方創生に関連する項目、まず、「結婚の現状と希望」は、40代で男性の31%、女性の13%が婚姻歴のない独身者、30代独身者の未婚の理由は男女とも「結婚したいと思える相手がいない」、「出会う機会、きっかけがない」が上位。

町への結婚支援策は、「雇用の確保」、「経済的支援」、「出会いの場の提供」、が高い割合。

「出産・育児」は、子育て中の世帯は「経済的な支援」に高いニーズ、乳児がいる世帯は「施設の拡充」、幼児がいる世帯は「保育・教育の質」、

小学生がいる世帯は「子どもを預ける施設の時間延長」が上位。

町外への移住を希望する30代以下の理由は「買い物環境」、「交通の利便」、「娯楽や余暇の環境」が高い割合。

都市住民が上市町に滞在するための「宿泊施設・環境施設を増やす」、「潜在的な観光資源を発掘・開発する」ことが重要。

出生率の予測

議員 「上市町人口ビジョン」の女性1人が生涯に産む子供の平均値を示す合計特殊出生率の予測数値について

企画課長 合計特殊出生率の予測数値は、平成27年1・21、平成32年1・36、平成37年1・51、平成42年は1・8、以降も継続して1・8で見込む。

人口ビジョンの将来推計は、国立社会保障・人口問題研究所の推計を基本とし、合計特殊出生

率の回復や社会移動も好転したケースを想定し平成72年(2060年)1万4296人となる推計値を採用。

総合計画前期基本計画の数値目標

議員 第7次上市町総合計画前期基本計画の数値目標の達成状況。

企画課長 「にぎやか・上市」の分野で誘致企業数、町内の富山地方鉄道駅の1日平均乗降客数など、達成済又は達成が見込まれる項目が11項目、町営バス利用者数など、引き続き努力を要する項目が7項目。

「すくすく・上市」の分野で、3歳児の虫歯保有率、ふるさと町民学園の累積受講者数など、達成済又は達成が見込まれる項目が15項目、北アルプス文化センター催事年間入場者数など、引き続き努力を要する7項目。

「あんしん・上市」、「安心力」分野で、バリアフリー公営住宅の割合、消防署の救急救命士数など、達成済又は達成が見込まれる項目が8項目、各種がん検診受診率など、引き続き努力を要する項目が18項目。

「行財政運営」の分野で、税込納率、実質公債費比率など4項目とも、達成済又は達成が見込。

実施計画は、中間見直し後の全体事業計画が175事業、小中学校大規模改造事業など、既に39事業完了又は今年度中に完了見込み。なお、道路整備事業など132事業を継続。町内事業所へのISO認証取得費助成など4事業に実績ない。

その他の質問

・「創生総合戦略」の基本目標、施策事業の概算事業費。



一般質問

成川 友仁 議員



参画と主体的な取り組みを促す環境づくり

大学生との関わり

成果を今後に生かせ
学生の参画と住民の主
体的取り組みが鍵に

議員 全国各地の大学生が上市町に1週間程度滞在し、地域活性化を探る取り組みが8月下旬に行われた。東京の就職情報会社が事業主体となり、成果発表会には伊東町長ら町関係者も臨席とのこと。

この滞在型の問題発見・解決能力向上プログラムの成果を今後に生かしたい。学生の自主活動の可能性、学生と上市町との連携・協力の可能性、上市町や住民自身の取り組みの可能性の3つの観点から伺う。町としての期待、考えられる施策、今後の方針は如何か。
産業課長 地方が抱える問題の解決策を考えるため、23名の大学生が上市町を訪れ、政策提案を行った。地元に戻った学生によるPRは、交流人

口の増加やU・I・J・ターンの促進につながるものも期待する。提案の実現に向けて関係部署で検討する。提案した大学生にも参画いただくため、上市町に関する幅広い分野の情報を提供するなど、つながりを深めたい。

地方創生の推進には、外部からの参画を積極的に受け入れる体制づくりと、住民の主体的な取り組みが不可欠。活発に活動する個人・団体の交流機会の創出と、連携・参画しやすい環境整備に努める。

信州上田との相互交流

細田監督作品の舞台モデルの市町で交流を
参加と継続が大事

議員 細田守監督作品の舞台モデル同士、すなわち「おおかみこどももの雨と雪」の上市町と「サマーウォーズ」の長野県上市町とのご縁で、7月下旬に町関係者や有志が市民

まつり「上田わっしょい」に参加し、市長らから歓迎された。北陸新幹線の延伸で、上市・上田間は1時間余りとなった。各々細田夫妻の出身地であることに加えて、来年1月からは上田ゆかりのNHK大河ドラマ「真田丸」が放映予定である。この機会に両市町の交流を後押ししては如何か。

企画課長 上田での行事参加と、上市市観光担当者らによる古民家訪問と「上市まつり」見学とが一体となった交流事業で、NPO法人おおかみこどもの花の家が新幹線開業に係る富山県補助事業の採択を受けて主催した。

交流事業は参加と継続が大事である。双方の事業交流により細田監督の活躍を側面支援すると同時に、郷土を大切に思う機運の醸成となる。事業継続の環境が整い、上市町の双方方向の交流拡大が期待できるのであれば、活動に対する支援な

ど相談・検討したい。



上田わっしょいの町流し

地域の伝統文化の記録

動画での記録と活用を
映像資料は教材に

議員 上市町の夏の伝統行事である精霊やぐらやきが「広報かみいち」9月号の巻頭特集となった。

カラー写真を豊富に用い、やぐら建てに必要なスタッフを明示するなど工夫が見られる一方で、アーカイブと呼ばれる、重要記録を保存・活用して未来に伝える手法の点では、更に取り組み余地がある。例えば動画での記録や分析も有用と考える。職人の技と呼ば



精霊 (しゅうらい) やぐら

れる工業分野でも、動画をもとに技能の分析を行い、次世代に技術を伝える取り組みがある。地域の方々の協力を仰ぎつつ記録の二次的な活用を図れば、新たな担い手の発掘にもつながる。町としての考えは如何か。
教育長 地域の伝統文化や行事を子どもたちに継承していくため、その製作過程も含めて映像資料として記録保存していくことは有意義である。歴史的背景なども含め、教材としても使用できる映像資料とするため、可能な方法を検討のうえ進めたい。



酒井 恒雄 議員

一般質問

町消防団員の報酬を引き上げ

消防団員のサポートについて

議員 消防操法訓練場について伺う。

町長 「基本操法」は富山県消防操法訓練大会に向けた訓練であり、町内8個分団の持ち回りで出場しており、「実践操法」は、町大会と中新川地区大会の訓練です。県大会は平成24年度より県広域消防防災センターで開催され、透水性舗装に整備された会場で実施される。町では町有施設や駐車場を利用することで対応している。今後も出場



分団の意見を尊重しつつ対応したい。

議員 消防団活性化、入団促進について伺う。

町長 消防団サポート事業として消防団活性化検討委員会開催し、消防団の活動を理解していただくための消防団機関誌を発行するなど、消防団活性化や入団促進の一助となる施策に反映している。

また、消防団後援会や消防団協力事業所として、数多くの企業に登録をいただき、消防団の温かいご支援とご協力を得ている。

今後は、町消防団員の報酬を増額し、消防団活動の活性化を図る。

防災拠点、水防倉庫を役場周辺に集約化

議員 防災拠点、水防倉庫を役場周辺に集約化しては。

町長 防災備蓄倉庫は平成25年に役場南

側駐車場に設置した。湯上野地内の水防倉庫については、長きにわたり管内の各河川を対象にした水防活動の拠点である。

ご指摘の通り防災拠点の集約化について、水防活動の立地条件などを勘案し検討する。

ネット時代、親子の社会について

議員 教育委員会の姿勢は。

教育長 寝屋川市の残忍な事件を受け、町教育委員会としても今後、学校、家庭、警察が連携し、地域一丸となって児童生徒を犯罪から守り、そして犯罪をおこさせない取組が必要だ。

議員 防犯カメラの設置はどうか。

教育長 防犯カメラは、町内公共施設や駅などを合わせ51ヶ所設置されている。上市警察署においても新たに17ヶ所の設置を要望している。通学路などの計画的な設置を要望している。



また、学校における防犯カメラの設置校は3校あるが、今後も要望を聞きながら、学校敷地内での防犯機能の強化を図りたい。

田園サイクリングコースについて

議員 県の田園サイクリングコースの整備は。

産業課長 富山県が主体となりサイクリングを活用して富山湾の魅力を発信するため、富山湾岸サイクリングコースに加え、海と森・里をつなぐ田園サイクリングコース整備の検討を進めている。大岩日石寺周辺が候補としてあげられている。事業内容は目印となるナビゲーターラインの設置と休憩施設サイクルカフェの整備で、県が中心となって協議を進めていき、町も支援をしている。

追跡レポート

その後実った議会での提案・要望

上市駅に観光案内板設置

平成27年3月議会質問

その後

上市駅正面出口に、上市町が一目でわかる観光案内板が設置された。北陸新幹線の開業に伴い、上市駅を訪れる観光客が増えている。初めて上市町を訪れた方にも、大変好評です。上市町の知名度が上がり、二度、三度とこの町を訪れて頂けたら良いですね。



都市計画道路の見直しを

平成24年6月議会質問

その後

平成25年度に未着手都市計画道路の必要性、実現性、妥当性の検証が行われ、平成26年度には、見直し候補路線の検証、交通量調査、道路網としての検証がされた。今後は、スマートインター構想の浮上や都市計画マスタープラン見直し等勘案して、都市計画手法続きの実施が行われる予定。



写真は中断されたままの都市計画道路
正印新北島線神明町郵便局前

視察報告

馬場島

8月25日、滑川市議会と合同で劔岳の麓、馬場島家族の森で、森林セラピーの研修を行なった。

若者が全国から毎日のように森林に包まれた「おおかみこどもの雨と雪」の浅生の花の家を訪れるのは生きていく上では森林が不可欠なことを物語っているのではないのでしょうか。これからは、家族の癒しの場としても、あるいは一人の人間として、劔岳を背景に森林に包まれた上市町を訪れる方が増えるでしょう。受け入れる環境を一層充実せねばなりません。



スマートアグリ

9月2日の中新川郡町村議会議員研修会にて、富山スマートアグリ次世代施設園芸拠点(富山市婦中町吉谷地内、平成27年6月28日竣工)を視察した。

この施設は、冷暖房完備の28棟(4万584㎡)の温室を持ち、種苗供給施設(2棟・900㎡)、集出荷施設(1棟・450㎡)などを兼ね備え、地域の廃棄物から生まれるエネルギーを有効活用して農作物を生産するという、循環型農業モデルとして、今後、注目されていく施設と考えられる。又、この施設は、次世代施設園芸導入加速化支援事業費を活用し、事業費26億5000万円の内、国費を17億6000万円当てて建設されたものである。

ここでの運営に当たっては、ICT等を活用した高度環境制御システムの導入により、全ての生産から出荷までデータ管理され、従来の「経験と勘」に基づく農業から、科学に基づく農業の実現に向けての施設としても期待されるものである。そして、新規就農者の早期育成の実現も可能であり、今後、現在栽培されている高品質なフルーツマトほか、効率的、安定的に栽培されていく事を容易に感じ取れる施設である事を感じた。



視点

成川 友仁 議員

かみいちの数字めぐり

映画「劔岳点の記」に登場する点の記とは、緯度・経度や標高の基礎になる基準点の記録を意味する。我が町は、測量や数字に縁のある町である。姉妹都市も「九十九里」町で、日本地図を作った伊能忠敬の生まれ故郷である。

そんな次第で、我が町では1から順に数字をたどって行くことが出来る。

数字の1は、KAMI・1と書かれた上市Tシャツの背中の1。2はカヌー競技場がある上市川第二ダム。3は上市高校隣の三杉公園。4は新川会の四ツ葉園や団地の四葉台。5は山加積の五位尾。6は大岩山日石寺の六本滝。7は健康科学専門学校近くのため池の七郎の池。8は食事処の八山やそば店の八笑。9は味蔵などで販売している九宝茶。

9といえば今夏公開の映画「バケモノの子」(細田守監督)では、主人公が9歳の挑戦よろしく9歳で親もとを離れて熊徹に弟子入りし、九太の名前を与えられた。

かみいちTシャツを着て町内をめぐり、滝に打たれて九宝茶で一服。小説「バケモノの子」を角川文庫でしばし読みふければ、上市町がもつといとおしくなるのではと思う。



メグスリノキの九宝茶

堀田喜久男 議員

今後の農業の課題は 農地集積と六次産業化

平成15年度に飯坂新協業営農組合を設立、現在、農事組合法人飯坂新E.K理事として農業に取り組んでいる。農業は国の重要な産業でありながら、経営は非常に厳しい状況下にある。当地区では、大正6年に一反田の耕地整理が行われて以来、約100年間経過、新たに50年、100年後を見据えて、五反田にする為、昨年、周辺集落と共に、経営体育成型基盤整備事業推進協議会を設立し、代表として活動している。

今後の農業の課題は、農地集積による生産コスト低減と六次産業化が重要と考える。如何に地域一丸で取り組んで行けるかが、生き残りの鍵だと思ふ。



松谷 英真 議員

今年、国勢調査が実施された。そして、希望者にはインターネットでの調査報告ができるようになった。携帯も含めネットの世界は私たちの生活の中に深く浸透し、なくてはならない状態だと思ふ。また、インターネットを介して年金番号が流失しました。今年の10月からはマイナンバーの通知が始まり、来年からはその番号が行政内で使用される。

上市町では、端末情報が漏れることの無いように、役場内のパソコンをインターネットから切離をした。

インターネットは何でも調べられ、何でも買うことができる。怖い部分もあるが、使う側がしっかりとマナーを守って利用するところです。さまざまなウイルスがいろんなところに隠れている。しっかりと予防することが大切で、詐欺まがいのページも沢山あることを認識しなければならぬ。

分らずに携帯やパソコンを利用している方も沢山いる。できれば家庭内において、ネットの問題点について話ができたらいと思ふ。



町民の声 紹介



大松 堀田 静枝さん

議会広報かみいちにより町政を動的に、これ迄より詳細に解り易く理解させて戴いております。議員の皆様様の御健康と御活躍をお祈り申し上げます。

◆議会に期待することは
今年猪の出没が際立って多くなっており、これまでの物に追加しての金網柵、電気柵で対応されておりますが、根本的に頭数減につながるような策を講じて戴ければと思っております。



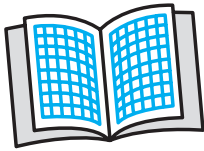
神田 酒井ミドリさん

◆議会に期待することは
議員さん方の実のある質問、要望等で議会活動がわかりやすく、議員さん方の顔も見えて、議会を身近に感じております。議員さん方が良好な人間関係で、より良い意思の疎通で意見交換され、議会活動を活発にし、吸い上げられた町民の声を、議会で発信されることを望んでおります。これからの地方創生に向けて、議員一丸となって町の経済発展、人口増対策、住み良い安全な町の活性化のために、知恵を出し合って、頑張ってほしいと期待しております。

朝に夕に雄大な剱岳を仰ぎ、素晴らしい大自然に恵まれて暮らしていること、幸せに思っております。少子高齢化の進む中、高齢者がますます増大し、施設利用も多くの介護職員の人手不足が深刻化して利用すること。利用者の受け入れサービス等、どうなっていくのだろうかかと気にしているところです。一日でも健康で元気で、住み慣れた地域で、自分らしく頑張って生きていきたいと願っております。

よりよい議会広報めぐり

議会広報発行から一年を過ぎ、5号目の発刊と成りました。7月8日、議会広報編集委員長の3人で新幹線を利用して、上京、日帰りにて、議会広報の内容を精査・評価していただく研修会に参加しました。評価されたのは、①コンパクトでまとまっていて経費も節約してある(2色刷り)②視点コーナーは他町村にはない企画③議員の質問報告が当局に何を迫っているのか、インパクトの面でひと工夫してほしい。との批評を受けました。議会広報が発行されてから議会活動が以前に増して活発になってきていると感じます。住民の方に待ち望まれ、より中味のある編集に努めますのでご支援願います。



12月定例会開催予定

- 9日(水) 本会議・全員協議会
 - 10日(木)・11日(金) 議案調査日
 - 14日(月) 本会議(一般質問等)
 - 15日(火) 総務教育常任委員会
 - 16日(水) 産業厚生常任委員会
 - 17日(木) 全員協議会・本会議
- ※何れも午前10時開会



お知らせ

「声」の募集
町民の声コーナーに、ひと言お寄せいただける方を募集しております。各議員または議会事務局までお知らせください。

編集後記

猛暑から一転、盆過ぎからは長雨の秋、雨の合間の秋の収穫。庭では彼岸花の鮮やかな赤色。その上には黄色く咲く金木犀の強い香りが漂う今日、外は又雨である。広報5号の編集作業を進めるためパソコンに向かっている。

皆さんに末長く親しんで愛読頂くために、分かり易く正確にお伝え出来る様、委員全員で頑張っております。明日からは、きつと晴れることを願って。(勝戸 謙)



会議録の閲覧

インターネット上で本会議の会議録の検索や閲覧ができます。(定例会終了後約2ヶ月後に更新されます。)

アドレスはこちら
町ホームページ「議会会議録検索」または、

<http://asp.db-search.com/kamichi/>